

いま、2020年の東京オリンピックが問われています。

さまざまな 記憶のつまった 私たちの 国立競技場を 改修して使い続けよう

私たちは、明治天皇の葬儀を行った神宮外苑、それがスポーツのメッカとなり、神宮球場での学生野球、雨の学徒出陣壮行会、1964年の東京オリンピック、サッカー天皇杯など、この土地の持つ悲しい、あるいは楽しい記憶を大事に未来へ手渡したいと考えています。そのために、いまある国立競技場を改修して使い続けることを望みます。

広い空と緑の安らかな空間も、いったん失ってしまったら、2度と戻っては来ないのです。

巨費をかけた近代オリンピックに別れを告げ、縮小時代に舵を切る、コンパクトでシンプルなオリンピックをみんなの手で。

ご賛同いただける方はご署名を



神宮外苑と国立競技場を未来へ手わたす会 <http://2020-tokyo.sakura.ne.jp>

当会は、建築や街並み、景観の保存活用に取り組んできた市民有志の集まりです。

2013年10月の発足以来、3ヶ月間で約13,000人の賛同をいただいています。

QRコードからも
HPにアクセスできます。



いま、国立競技場は、2020年の東京オリンピックに向けて、ザハ・ハニドさんがデザインした80,000人収容の競技場に建替えの予定です

新しい競技場は誰が決めたの？

2012年のコンクールで建築家の安藤忠雄さんら10人の審査員が、イギリスの建築家のザハ・ハニドさんの案を選びました。しかし、敷地には20mの高さ制限があったのに、コンクールでは70mまで建ててよとして募集しました。さらにハニド案は敷地を大きくはみ出していたので、募集要項を満たしていません。なぜ、このようなコンクールが開かれ、ハニド案が当選したのでしょうか？審査過程は今も明らかにされていません。

新しい競技場の大きさは？

延床面積は約220,000㎡。いまの国立競技場の4倍以上です。高さ70mは、いまの競技場の2倍以上。銀杏並木や絵画館の背景に巨大な競技場が出現します。いまの競技場の照明灯の高さが約60mですから、その大きさを現地で見ることができません。

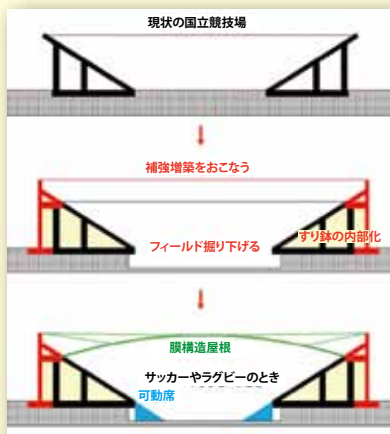
建設費はいくらで、誰が払うの？

当初予算の1,300億円に対して、基本計画の段階ですでに1,699億円まで増えています(2013年12月現在)。この金額は、北京五輪のメインスタジアムの4倍以上、ロンドン五輪の2倍以上です。そのほとんどが私たちの税金で賄われます。今後、人件費や資材の値上がり、ハニド案の複雑な形を施工する難しさ等により、さらに建設費は膨らむと言われています。

どうやって維持するの？

JSCは、新しい競技場には毎年41億円以上の維持費がかかるとしています。また建物ができたら20年後には、建設費の半分程度の改修費が必要になるとの指摘があります。これから日本の人口が減っていく中で、こうした費用は次の世代の大きな負担になります。ちなみにいまの競技場の維持費は毎年約5億円です。
※JSC(日本スポーツ振興センター)は国立競技場の事業主のこと。

現・国立競技場の改修案
(作成/森山高至)



新・国立競技場の模型
(デザイン/ザハ・ハニド)

うまく活用できるの？

JSCは、年間48日間の利用を見込んでいます。1年のうち300日以上は空の状態です。また80,000人を満席にできるイベントはほんの数日です。ちなみにロンドン五輪では、五輪後にメインスタジアムの仮設席分を撤去して25,000人の競技場に減築し、維持や運営の負担を軽減しました。

地元の人たちはどうなるの？

都営霞ヶ丘アパートの住人たちは、この計画のために立ち退かなくてはなりません。またそれ以外の人たちも、慣れ親しんだ明治公園を失うことになります。

神宮外苑はこれからどうなるの？

競技場の周辺地域の高さ制限や建ぺい率も緩和されたので、新国立競技場の計画をきっかけに、神宮外苑一帯で大規模な再開発が加速されると思われます。

いまの競技場は改修して使えるの？

JSCは収容人数を70,000人以上に増やし、国際大会を開催できる施設にするには777億円が必要という試算を出しています。これはいまの計画の約半額です。また複数の専門家が、同程度の金額でいまの競技場をオリンピック仕様で改修できると言っています。

これからどうなるの？

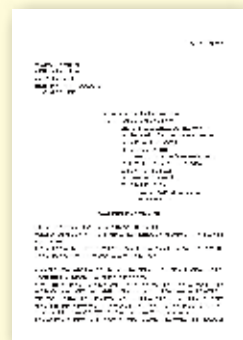
2014年3月までに最終案が決定され、7月から国立競技場は取り壊され、10月から新しい競技場の建設が始まる予定です。残された時間は少ないですが、今の時期にこの計画の問題点をよく考えて行動することがとても大切です。

当会の活動



公開座談会 (13/11/25)

要望書提出 (13/11/25)



外苑ウォーク (13/11/30) ©Shizu Uguisubara「地球のココロ」

賛同署名欄

| | | |
|---------|-----|---------|
| (ふりがな) | | ご職業 |
| お名前 | | |
| ご所属 | 居住地 | メールアドレス |
| コメント | | |

神宮外苑と国立競技場を未来へ手わたす会

問合せ: info@2020-tokyo.sakura.ne.jp

web 署名は→<http://2020-tokyo.sakura.ne.jp> 紙署名は下記へ郵便またはファクスでお送りください。

署名送付先: 〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 東京ボランティア・市民活動センター メールボックスNo.53/ ファクス 03-6380-8812